



産直ニュース（農・畜・水産）19週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。 生活クラブ関西

*納品書「次週以降のお届け」が上手く機能していません。果物類お届けは下表をご参考にして下さい。

今後のお届け品スケジュール

単協支所	大阪					京都		奈良	滋賀
	茨木	豊能	香里	門真	平野	西	東	奈良	滋賀
19週	河内晩柑④					パイナップル(ピーチ種)②			
20週	小梅(!)					イエローキングメロン(!)			
21週	河内晩柑⑤					パイナップル(ボゴール種)③			
22週	河内晩柑⑥					小玉スイカ(マダーボール)①(!)			
	河内晩柑⑦					パイナップル(ピーチ種)③			
						小玉スイカ(マダーボール)②(!)			
						梅酒用生梅(!)			
						パイナップル(ボゴール種)④			

*(!)は調整の可能性有ります。

お知らせ 産地情報

配達品（中でも特に生鮮品）については、配達当日に異常が無いかを確認して下さい。

もし異常が発見された場合は、配達当日に担当事業所までご連絡頂きますようお願いいたします。

■肥後グリーンメロン 案内配付中です～

4/26に熊本不知火海（熊本県）にメロンの生育状況を確認してきました。

今年から新しく借りることが出来たハウス…長さ130mもあり気が遠くなるような感じですが、宮崎修さんは「10年間の契約です。これで植え付けする場所の心配をせず必要十分な数量の栽培が出来ます」と張り切っていました。

このハウスでは、肥後グリーンをはじめ今年から始めたイエローキングメロンが植え付けられ、試験的にパパイヤメロンやまだ試験栽培の新品種も少し植わっていました。



ハウス内では奥様の宮崎優子さんが摘果作業と蔓の整理を進めています。

肥後グリーンは1本の株から2蔓伸ばして、それぞれの蔓に1玉着果させます。伸びた蔓は支柱に沿わせる立体栽培で育てています。

蜂による受粉なのでいくつもの花に着果する為、一蔓に1コだけ実を残すように余分な実は摘み取っていくのが摘果作業です。（一般では1蔓に2個ずつ着果させてホルモン剤で肥らせる育て方もあります）

単に1蔓1コ残して他は摘果するののかと思いきや「1本の株から2蔓出ているので、そのペアになった蔓には同じ大きさの玉を残すのだそうです。

例えば、左の蔓に大きめの玉と小さめの玉が着いていて右の蔓には小さい玉が1つだけ

着いていた場合…左の蔓の大きい実を摘果します。ペアになった2本の蔓で残した玉の大きさが違うと、バランスが崩れて大きい方にだけ養分が運ばれ小さい玉は出荷できる大きさにならないそうです。ナルホド…摘果をこなしながら伸びていく余分な蔓を整枝して、ならせた実にしっかり栄養分を集中させて美味しいメロンに仕上げていきます。

P S) 長男：修太さんご夫婦に赤ちゃんが誕生しました♪

オメデトウ!!!

■玉ねぎ収穫始まりました！（今年は豊作だ！）

泉州：岸和田の植田さんの園地では、2019年産の新玉ねぎの収穫がいよいよ始まりました！

写真は5/8、早生種の「七宝早生」という品種から収穫を始めています。植田さんご夫婦とお父さんの強さん。お手伝いのパートさん2名の合計5名で、掘り起こされた玉ねぎの葉と根をハサミでチョッキンチョッキン…。畝沿いに並べたコンテナにどんどんと入れていきます。

見れば、どれも型揃い。暑い日中でしたが、良い出来映えに笑顔が溢れていました。常備根菜3種 しっかり登録して食べましょう！

